



ナンヤローネフォーラム「あたららしい場をつくろうー岐阜におけるアートコミュニケーターの可能性」の開催について

岐阜県美術館は2019年11月3日にリニューアルオープンを迎えるにあたり、リニューアルビジョンである「美とふれあい、美と会話し、美を楽しむ」を実現するための新しい試みとして、「アートコミュニケーションプロジェクト」を始めます。

全国で注目を集めつつある、「ミュージアムを拠点とした新しいソーシャル・デザイン・プロジェクト」の可能性について、このたび、**プレフォーラム**を開催いたします。

当日は、日比野克彦岐阜県美術館館長より岐阜版アートコミュニケーターの愛称を発表する予定です。



岐阜版「アートコミュニケーター」とは……

アートから生まれるコミュニケーションを大切にして、岐阜に生きる人やテーマと結びつきながら、美術館を拠点に「アートの縁」を編んでいく存在です。人と人、人と作品、人と文化をつなぎ、新たな価値や関係を社会にひろげていきます。

すでに活動を展開している東京と札幌では、会社員、学生、主婦や退職後の方、フリーランサーなど、多様な人々が活躍しています。

- | | | |
|------|--|-----------------------|
| 1 日時 | 2019年8月17日(土) | 15:00~16:45 (14:30開場) |
| 2 会場 | 岐阜県図書館研修室(2階)
住所:岐阜市宇佐4-2-1 | |
| 3 定員 | 先着80名
入場無料(当日受付、事前申込不要) | |
| 4 内容 | 東京藝術大学 伊藤達矢氏と日比野克彦館長との対談
アートコミュニケーターの紹介、活動の可能性、期待することなど | |



伊藤 達矢（東京藝術大学美術学部特任准教授

とびらプロジェクト/Museum Start あいうえの プロジェクトマネージャ）

福島県生まれ。東京都美術館と東京藝術大学の連携事業「とびらプロジェクト」をはじめ、アートを介したコミュニティづくりを軸に、上野公園の文化資源を活かした多様な文化プログラムの企画立案に携わる。共著に『美術館と大学と市民がつくる ソーシャルデザインプロジェクト』（青幻舎）。



日比野克彦（岐阜県美術館 館長）

岐阜県生まれ。アーティスト、東京藝術大学美術学部長。岐阜県美術館館長として、「ナンヤローネプロジェクト」を始動。「あいちトリエンナーレ 2019」、「瀬戸内国際芸術祭 2019」など国内外の芸術祭への参加や、「TURN」プロジェクトの監修など、地域や人の営みを活かした活動を展開する。

問合せ



学芸部 鳥羽都子、芝涼香

TEL 058-271-1314（学芸部） FAX 058-271-1315

※取材にお越しの際は、事前にご連絡ください